

# 広報よりい

## アンケート結果から考える これからの広報広聴活動、そして「広報よりい」

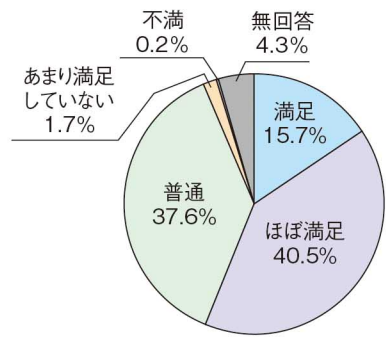


**ま**す、結果で注目した点は「町からの情報をどんな媒体から入手しますか?」という設問に対し、60%の方が「広報よりい」と答えていることです。10代〜30代の若い年代別で集計しても「広報よりい」が1番となっています。町からの情報については「広報よりい」が広く情報源として活用され、皆さんにとって一番身近な情報媒体であることが分かります。

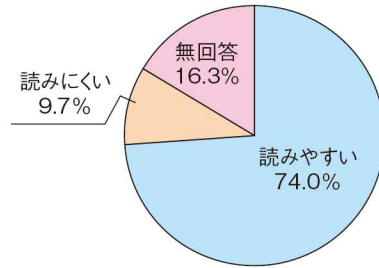
また、「口コミ」で情報を入手している方が全体の17%と、公式ホームページやフェイスブックを上回っており、人から人への対面情報伝達の大切さが伺えます。

これらの結果から「広報よりい」の重要性と、読みやすさ・分かりやすさを大切に誌面作りが求められていること、情報発信を行う際には、その情報が人から人へどう「伝わる」かを考えて行うことが大切であることを読み取ることが出来ます。そして、「広報よりい」をはじめとした各発信媒体を連携させ、より魅力的な情報発信を行うことが重要であるといえます。

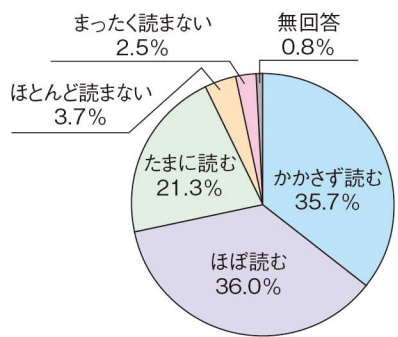
Q 広報よりいの満足度は?



Q 写真や文字等の配置は?



Q 広報よりいを読む頻度は?



**問** 広報よりいについて  
お伺いします。

**町**では、平成28年度から総務課にシティブロワーを置き、広報よりいや町公式ホームページ、フェイスブック、報道機関へのプレスリリースなど、さまざまな媒体を活用して積極的な情報発信を行っています。

今後、さらに積極的・効果的に情報発信を行っていくために、重要な媒体の一つである「広報よりい」について「2016町民広報広聴調査」のアンケート結果から分析を行いました。現在の広報よりいの状況を把握して、今後の広報誌作りや広報広聴活動に生かしていきたいと考えています。

今回は、皆さんからいただいた貴重なご意見の一部を紹介しながら、これからの町の広報広聴活動、そして広報よりいのあり方を考えます。

**問い合わせ**  
総務課 ☎581-2121  
内線314へ。



県広報コンクールで2席に選出!  
—広報よりい 10月号—

**埼**玉県広報コンクールで「広報よりい 平成28年10月号」が、町村の部第2席に選ばれました。広報よりいは、平成27年10月にリニューアルを行っており、この号はリニューアルからちょうど1年、節目の号での選出となりました。これも、日ごろから広報活動にご理解ご協力をいただいている皆さんのおかげと感謝いたします。

今後も、皆さんのご指導ご協力をいただきながら、よりよい広報誌づくりに努めていきます。

**次**に、広報よりいについてのアンケートの回答をみると、広報を毎月「かかさず読む」「ほぼ読む」と回答した方は合計で71.7%、「たまに読む」を含めると93%となり、ここでも広報よりいの重要性の高さが改めて確認できます。

また、満足度では「満足・ほぼ満足」が半数を超える一方、満足していない方からは「もっと高齢者や子育てについて分かりやすく載せてほしい」「子どもにも読める広報を」「バックナンバーも取っておきたい」なるような内容に「などのご意見をいただきました。

町では、今回のアンケートの回答結果を踏まえ、さらなる情報発信の強化に努めていきたいと考えています。そして、発信媒体の中でも「広報よりい」を町民の皆さんに一番身近な媒体と位置付け、さらに分かりやすい・読みやすい誌面作りをすることも、町公式ホームページや公式フェイスブックなどの他媒体と連携を図っていきます。

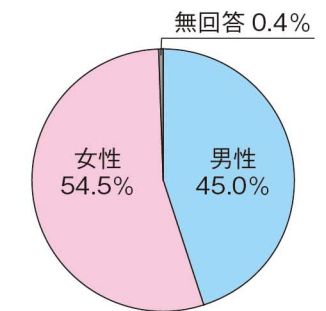
今後も、よりよい広報広聴活動ができるよう努めていきますので、広報よりいをはじめ、公式ホームページ、公式フェイスブックをよりよくお願いします。

### 2016町民広報広聴調査

町では「広報広聴戦略プラン」を策定するに当たり、広報広聴調査を実施しました。これは、町民の皆さんから現在の町の広報広聴事業に対するご意見を伺い、分析を行ったうえでプランに反映させることを目的としています。

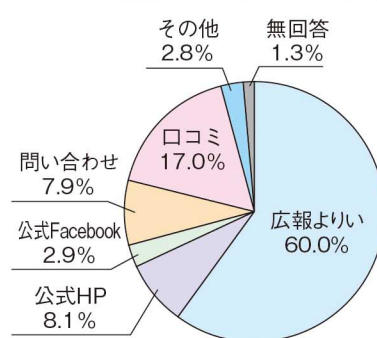
- 調査期間 平成28年10月～11月
- 調査方法 町内在住の満18歳以上の方1,500人を無作為抽出し、郵送によるアンケート調査
- 回収回答 484件

Q あなたの性別は?

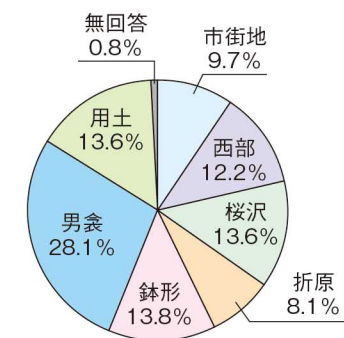


**問** あなたご自身のことについてお伺いします。

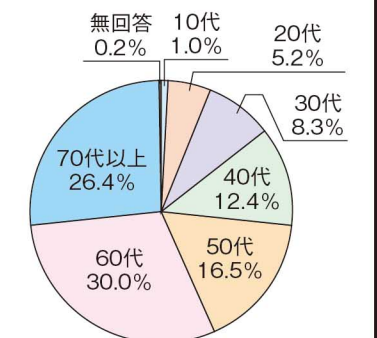
Q 町からの情報を  
どんな媒体から入手しますか?



Q あなたの居住地区は?



Q あなたの年代は?



※端数の関係で、合計が100%にならない場合があります。